

HL7最近の動向

- サンアントニオWGGM報告



浜松医科大学
医療情報部
木村通男



IHE demo at JAMI Conference - HIS-RIS-LIS-Modality-Report



理事会

⌘ IHEからのプレゼン

- ☑ HL7側に積極的参加を要請、
- ☑ Wes Rishal会長の意向としては、HIMSSのHL7デモにまず集中

⌘ 投票結果

- ☑ v2.5はまた不通過
- ☑ RIMは通過
- ☑ v2.XMLも通過.

ISOとの関係

- ⌘ ISO Pilot Programは認められた
- ⌘ 以下のものをDISに出すことを確認
 - ☑ v2.4
 - ☑ CDALevel1
 - ☑ RIMv1.25.

国際関係

- ⌘ 10月13,14に大邱で4th Int'l Comf.
- ⌘ 6月5,6日に台北で中台HL7合同会議
- ⌘ 04年春のヨーロッパでのWGGMは、アムステルダムでなく、Goettingen (Joachim Dudeckのいるところ) になる予定。5月16-21日.

その他

- ⌘ v2.5投票で、川真田さんからのNegative minor, AndreiとJoannから、「直したのをチェックして取り下げてくれ」
- ⌘ Gene Informatics SIGへの日本からの参加者にノミネート要請され、坂本先生を推挙
- ⌘ CDAへの日本からの参加者をノミネート依頼、JAHISからの推挙者とデジコムからの推挙者、松村先生(阪大)、の3人の予定(後二者はLioraからの要望).

ISO/TC 215/WG 2 Sub Working Group



⌘ Methodology SWG

- ☑ 17113のMDM(Message Development Method)はIS認められ、コメント対応を行った(ノルウェーからNegative, UKからEditorialのみ)
- ☑ HL7 RIM NWIP認められたが、1.3がANSI化するので、Pilot Programを使ってDISにする方針。
- ☑ 21090 Data typeは、Discussion paper 2提出(小生)、CENの新版が出次第着手し、3月末提出を目指す。

ISO/TC 215/WG 2 with DICOM



- ⌘ WADO(Web Access to DICOM Object)のWIの報告
- ⌘ HL7, IEEEとも、Pilot Programによって、4通りのスタートの仕方がある(WD, CD, DIS, FDIS)が、ともに、ANSI化されたもののものにFDISから投入する方針であることが紹介され、DICOMもそれを見習うこととなった。
- ⌘ 次回もHL7の1月の会合時に合同会合(サンディエゴ)。

ISO/TC 215/WG 2

Plenary



- ⌘ 4グループからの報告、承認。
- ⌘ HL7から、v2.4, CDARelease1 Level1, RIM v1.3をPilot ProgramでDISから投票に付す方針であることが紹介された。まだその手続きは始まっていない。
- ⌘ 次回は、IEEEとの会合と合わせて、9月26,27日にデルフト(オランダ)で。